

令和5年度スポーツ推進事業について

1 令和5年度スポーツ推進事業について
政策Ⅰ 子どものスポーツ機会の充実
I-1 未就学児の運動機会の充実・運動習慣や体力の重要性についての啓発

○親子ふれあい体育教室の充実

期日等	前期：令和5年5月27日～7月22日 全4回 後期：令和5年9月23日～12月17日 全4回
会場	磐田市総合体育館 外
対象	幼稚園・保育園・こども園 年中・年長児と親、 小学校1・2年生 児童と親
参加者	前期69組（園児40組、小学生29組）、 後期67組（園児40組、小学生27組）
内容	集団の中で協力し合い、子どもが自ら進んで運動できるように、親子運動を中心とした教室を開催。 （その他サーキットトレーニング、トランポリン、跳び箱、なわとび等を実施）




○親子スポーツ体験 ファミリーサッカー

期日等	令和5年12月16日（土）
会場	アミューズ豊田
対象	年長児と親、小学校1・2年生と親
参加者	39組（78名）
内容	運動する機会が少なくなっている親と子供を対象にジュビロ磐田の普及スタッフがサッカーボールを使った遊びやシュート体験等を実施。




令和5年度スポーツ推進事業について

○ジュビロと連携した幼児合同スポーツ教室（サッカー）

期日等	令和5年5月17日～令和6年1月17日 全23回
会場	上大之郷グラウンド・加茂グラウンド
対象	年長児
参加園	42園（延べ人数 1,108名）
内容	ジュビロ磐田の施設等で、複数園が一緒に活動。普及スタッフの指導のもと、ドリブルやシュート練習、ミニゲームを楽しんだ。 

○静岡ブルーレヴズと連携したラグビー体験

期日等	令和5年5月17日～令和6年3月13日 全37回
会場	園庭ほか
対象	年長児
参加数	37園（1,022名）
内容	静岡ブルーレヴズ普及担当の協力を得て、園児を対象にラグビー体験を実施した。ラグビーボールに触れたり、タックルをしたりして楽しんだ。 

○親子スポーツ体験 ファミリーラグビー

期日：令和6年3月17日（日）実施予定


内容：年長児から小学2年生とその保護者、30組を対象に静岡ブルーレヴズ普及スタッフを講師に招いて親子ラグビー体験を実施予定。

 ○親子でできる運動プログラムの提供、市内にある公園や遊具などの紹介
 静岡産業大学の協力を得て作成した“イワタ de 運動あそび”を増刷


令和5年度スポーツ推進事業について

I-2 小中学生の運動機会の充実・体力向上につながる事業の推進

○わくわくスポーツ教室の充実

期日等	令和5年6月3日～令和6年2月3日 全7回
会場	福田南島体育館 外
対象	小学校3・4年生児童
参加者	30名
内容	<p>運動の苦手な子どもや運動をする機会が少ない子どものために、運動に親しみ、進んで運動ができるきっかけを提供するための教室を開催した。</p> 

○中学生の運動機会の充実を目的としたスポーツ体験会「iスポ」の開催

期日等	令和5年8月26日～10月27日 全5回
会場	静岡産業大学第3スポーツセンター、竜洋中学校体育館
対象	中学生
参加者	トランポリン8名、アーチェリー10名、体幹トレーニング131名
内容	<p>中学生を対象とし普段経験することができない種目を実施し、体を動かすことの楽しさやスポーツに触れる機会の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トランポリン ○アーチェリー ○体幹トレーニング 

令和5年度スポーツ推進事業について

○ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の実施

期日等	令和5年5月13日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内小学校5年生・6年生
参加者	小学校5年生・6年生約3,000名、引率教員等
内 容	<p>ジュビロ磐田の試合を観戦することで、子どもたちがスポーツに関心をもつきっかけを作るとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。</p> <p>ジュビロ磐田 vs ザスパクサツ群馬</p>




○静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦事業の実施

期日等	令和6年1月27日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	市内中学校2年生
参加者	中学校2年生約1,500名、引率教員等
内 容	<p>静岡ブルーレヴズの試合を観戦することで、子どもたちが様々なスポーツに関心をもつきっかけを作るとともに、地元チームへの愛着や、磐田市をふるさととして誇りに思い愛する気持ちを育むことを目的に実施。</p> <p>静岡ブルーレヴズ vs 花園近鉄ライナーズ</p>




令和5年度スポーツ推進事業について

○宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール


期日等	令和5年12月24日（日）
会場	磐田城山球場
対象	小学1年生～中学3年生、一般
参加者	3,500名
内容	<p>小・中学校の野球部、ソフトボール部を対象に元プロ野球選手による少年少女ふれあい野球教室を実施。また、元プロ野球選手からなるドリームチームと磐田市選抜チームが対戦。</p> 

○ジャイアンツアカデミーin 磐田

期日等	令和6年2月24日（日）
会場	磐田城山球場
対象	①年中・年少とその保護者 ②小学1年生～3年生
参加者	①42組 ②43名
内容	<p>読売巨人軍の協力のもと、岡島秀樹氏など5名のコーチを招き、野球経験がなくても、野球道具がなくても手軽な運動を通じて身体を動かす楽しさを体験してもらった。</p> 

令和5年度スポーツ推進事業について

○トランポリン体験会

期日等	令和6年3月2日（土）	
会 場	アミューズ豊田	
対 象	小学1年生～6年生	
参加者	50名	
内 容	全国大会の開催に併せ、静岡産業大学トランポリン部の協力を得て、トランポリン、タンブリング、ダブルミニの3種目の体験会を行った。	

○ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと小中学生の交流事業の実施

- ・学校訪問（ジュビロ） 小学校 22校
- ・サッカー体験（ジュビロ） 小学校 1校
- ・夢語り（ジュビロ、レヴズ） 小中学校 9校
- ・ラグビー体験、講座（レヴズ） 小中学校 7校
- ・タグラグビー継続指導（レヴズ） 小中学校 4校

○MUFG ONE PARK in IWATA

期 日 令和6年1月27日（土）

内 容 静岡ブルーレヴズホストゲームに合わせて、ラグビー運動会、ラグビー体験会などを三菱UFJフィナンシャルグループ主催、磐田市共催にて開催。イベント参加者はラグビー試合観戦無料。

○磐田スポーツ部活の実施（放課後活動課）

中学生のスポーツ活動の機会充実及び教員の負担軽減を図るため、地域の団体、大学及び企業と連携し、2種目（陸上競技・ラグビー）において、学校部活動の枠を超えた新たな（磐田スポーツ部活）事業を実施した。

令和5年度スポーツ推進事業について

○全国各種スポーツ大会に出場する児童・生徒への支援

地区予選を勝ち抜き全国大会へ出場を決めた選手、チームへ支援を行った。

令和5年度実績（2月末時点）：67件 1,100,000円


政策Ⅱ ライフステージに応じ誰もがスポーツに親しむ機会の創設

Ⅱ-1 成人におけるスポーツの推進

○いわたスポレク健康フェスティバルの開催

期 日	令和5年10月22日(日)	
会 場	磐田市かぶと塚公園内	
参加者	538名	
内 容	スポーツの秋に誰もが参加できる行事として実施。市民相互の親睦と健康増進を図った。 体力測定、トランポリン等多種目にわたり体験を行った。	

○楽La歩（ららぽ）ウォーク

期 日	令和5年8月28日(月)～9月10日(日)	
会 場	ららぽーと磐田館内	
参加者	延べ572名	
内 容	買い物ルートを「ウォーキングコース（全長1300m・所要時間20分）」にすることで、日常生活の中に運動習慣を取り入れ、スポーツを身近に感じてもらうきっかけとなるよう静岡産業大学とららぽーと磐田と開催。	

令和5年度スポーツ推進事業について

○ジュビロ磐田メモリアルマラソン大会開催支援

- 期 日 令和5年11月19日（日）
- 参加者 エントリー数：5,605人
- 内 容 新型コロナウイルスの影響で4年ぶりに声を出した応援や選手のハイタッチ、園児のロータッチが復活した本大会に対して支援を行った。

○指定管理者等の特長を生かしたスポーツ教室等の実施

各施設の指定管理先が施設の特長を活かしながら工夫をし、幼児から高齢者までの各種教室を開催した。

○市民だれもが取り組むことができる健康づくり事業の促進

- 期 日 令和5年4月～令和6年3月
- 会場等 各地区公会堂、交流センター
- 内 容 **【いきいき百歳体操】** 主管；高齢者支援課
【みんなでラジオ体操】 主管：自治デザイン課
【たのしっぺい健幸チャレンジ】 主管；健康増進課

II-2 障がいのある人のスポーツの推進

○発達支援親子のびのびスポーツ教室の実施

期 日	令和5年10月26日～令和6年2月17日 全4回
会 場	福田屋内スポーツセンター武道場、ゆめりあ
対 象	小学生の親子
参加数	11組
内 容	参加する子どもたちの発達段階に合わせた指導を行い、体を動かす楽しさを体験できる教室を開催した。 親子運動、ダンス、パラバルーン、フロート 外




令和5年度スポーツ推進事業について

○障がい者スポーツや障がい者と健常者がともに楽しめるスポーツ大会や教室の実施


➤ ボッチャ体験会

期 日	令和5年7月1日(土)
会 場	福田南島体育館
参加者	23名
内 容	パラリンピックの正式種目であるボッチャの体験教室を開催した。 

➤ いわたボッチャフェスティバル

期 日	令和5年10月1日(日)
会 場	アミューズ豊田
参加者	38名(12チーム)
内 容	10歳～87歳の参加者が12チームに分かれトーナメント形式のボッチャ大会を開催した。 

➤ モルック体験会

期 日	令和6年3月2日(土)
会 場	かぶと塚公園グラウンド
参加者	23名
内 容	気軽に取り組めるニュースポーツのひとつとして、“モルック”を取り上げた。 市民に広く周知し、普及を図るため体験会を開催した。 

令和5年度スポーツ推進事業について

○講師派遣事業

交流センター、小学校、施設等から、レクリエーション運動や親子運動の派遣依頼に対し、スポーツ推進委員を派遣し、参加者が楽しく体を動かしてスポーツに親しめるように活動した。

また、「磐田市身体障害者スポーツ大会」の進行や競技運営の補助を行った。

○みんなの運動会 in IWATA

期 日 令和6年2月11日（日）

内 容 年齢や性別、障がいや特性の有る無しなどに関わらず、誰もが参加でき、「楽しい！」を一緒に創る「みんなの運動会」を一般社団法人ASOBI主催、磐田市共催にて開催。

○車椅子ツインバスケットボール大会の開催支援

期 日 令和5年8月12日（土）

内 容 令和5年度は4年ぶりに開催。四肢障がい者がスポーツの発展と社会への参加及び資質の向上に寄与し、健常者との触れ合いの場を広げようと企画。近隣ブロックより全4チームを招聘し開催。

○障がい者スポーツ選手等による講演や体験教室の実施

▶ ブラインドサッカー教室

期 日	令和5年11月14日（火）
会 場	磐田市立豊岡北小学校 体育館
対 象	小学4年生 46名
内 容	パラリンピックの競技種目でもあるブラインドサッカーの体験を日本ブラインドサッカー協会のスタッフの協力のもと行った。



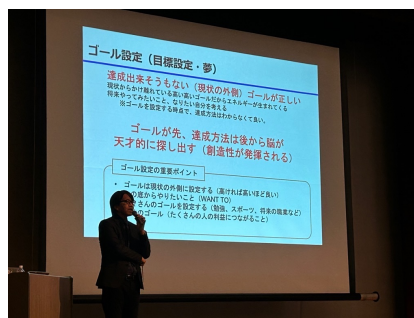
令和5年度スポーツ推進事業について

政策Ⅲ スポーツ環境の基盤となる「人」と「場」の充実
Ⅲ-1 指導者やボランティアの確保

○指導者等を対象とした研修会の充実

▶ 磐田ここからラボ メンタルトレーニング講座

期 日	令和6年1月31日
会 場	ワークピア磐田
対 象	小学5年生以上、保護者、指導者、教職員 125名
内 容	青山龍氏を講師に招き、米国オリンピック金メダリストが活用する最新科学の脳の使い方を講演いただいた。子どもたちの「無限の可能性」を引き出すと共に、夢実現までのプロセスについて学んだ。



○大学生のスポーツ推進委員への登用

静岡産業大学生らをスポーツ推進委員に登用した

○指定管理者やスポーツ協会等と連携した指導者の確保

○中学生や高校生のスポーツイベントの参加促進

○スポーツいわたボランティアクラブ (SIVC) の活動に対する支援

Ⅲ-2 大学やスポーツ団体等との連携

○大学やスポーツ団体・企業等と連携した運動プログラムの開発や施策の実施

☆ 静岡産業大学の協力を得て作成した“イワタ de 運動あそび”を増刷【再掲】

☆ 静岡産業大学の協力をて楽La歩 (ららぽ) ウォークを実施【再掲】

☆ 磐田産の食材を使用しバランスのとれた「食事+運動プログラム」を開発し、“ジュビロ飯”として周知活動を行った。

○大学やスポーツ団体・企業等の保有するスポーツ施設の活用の検討

○総合型地域スポーツクラブの充実を図る体制の整備

既存スポーツクラブへの支援

令和5年度スポーツ推進事業について

Ⅲ-3 施設を安全かつ円滑に使用するための取組

○修繕計画の策定と適正な実施

修繕計画を策定し、施設が安全に使用できるよう施設の修繕を行った。

○指定管理制度を導入した施設の管理運営

新たに竜洋体育センター、磐田アーチェリー場、磐田卓球場（ラリーナ）、豊田野球場、豊田加茂グラウンド、豊田加茂テニスコートの6施設を指定管理者の管理運営とした。

○公共施設予約システムの充実

学校体育施設（体育館、武道場、卓球場）のカギの貸し出し方法の簡素化を図るため、スマートロック管理システムを18施設23室場に導入し、また、利用報告書の電子化、使用料のキャッシュレス決済を開始し利用者の利便性が図れるようにした。

○スポーツ施設以外でスポーツに親しむことができる場（ウォーキングコースや公園など）の紹介

令和5年度スポーツ推進事業について

政策Ⅳ トップレベルのスポーツを体感する機会の充実
Ⅳ-1 トップレベルのスポーツを「みる」機会などの充実

- ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業の実施【再掲】
- 静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦事業の実施【再掲】
- T. LEAGUE 静岡ジェード戦誘致及び観戦招待事業の実施

期 日	令和6年1月12日（金）・13日（土）
会 場	磐田市民文化会館「かたりあ」
対 象	市内の卓球少年団に属する団員 市内中学校卓球部に属する部員（1・2年生）
参加者	1月12日：26人（団員2人、部員24人） 1月13日：40人（団員5人、部員35人）
内 容	<p>プロ卓球チーム・静岡ジェードのホームタウンとして卓球・Tリーグを誘致した。初の試みとして文化施設である市民文化会館「かたりあ」でプロスポーツイベントTリーグを開催。</p> <p>また間近でプロの迫力やスピード感を肌で感じてもらうため、少年団や卓球部の子どもたちを招待した。</p> <p>1/12 静岡ジェード vs T. T. 彩たま 1/13 静岡ジェード vs 琉球アスティータ</p>



- サッカー、ラグビーホームゲーム観戦招待事業の実施

ヤマハスタジアムで開催されるジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズの試合を観戦することにより、プロスポーツを身近に体感し応援する気持ちを醸成させる。


対 象：サッカー 4試合、
ラグビー 1試合 を対象試合として位置づけ実施した

- ジュビロ磐田・静岡ブルーレヴズと小中学生の交流事業の実施【再掲】

令和5年度スポーツ推進事業について

○パブリックビューイング

▶ ラグビーワールドカップ2023 パブリックビューイング

期 日	令和5年9月10日（日）
会 場	アミューズ豊田
対 象	参加者数 約150人
内 容	<p>磐田市は静岡ブルーレヴズのホストタウンであり、2019年のラグビーワールドカップ日本大会で、アイルランド、ロシア、オーストラリアの公認チームキャンプ地となりました。スポーツのまち磐田としてラグビー及びラグビーワールドカップの機運醸成を図るため、パブリックビューイングを開催しました。</p> <p>日本代表 vs チリ代表</p> 

▶ 【ジュビロ磐田】パブリックビューイング&スタジアムマルシェ

期 日	令和5年10月7日（土）
会 場	ヤマハスタジアム
対 象	参加者数 約1,000人
内 容	<p>J2リーグ2023シーズンが終盤に入り、J1リーグへの昇格をかけた熱い“静岡ダービー”が、敵地IAIスタジアムで開催となった。アウェイ先に行けないサポーター、ファンがヤマハスタジアムへ集まり、敵地へ声援を送ることができるようジュビロ磐田と共催でパブリックビューイングを開催した。</p> <p>ジュビロ磐田 vs 清水エスパルス</p>

令和5年度スポーツ推進事業について

○トップアスリートを招いた教室の開催

▶ バスケット交流会

期 日	令和5年10月27日～2月8日 計6日
会 場	小学校体育館
実施先	磐田北小学校 外7校
内 容	プロバスケットボールチーム 三遠ネオフェニックスの元プロ選手で、現在はフロントスタッフ（職員）としてクラブに在籍している鹿毛 誠一郎氏が学校を訪問し、子どもたちと交流・ふれあいを行った。

○スポーツのまちNo.1 記念講演会

期 日	令和6年2月10日（土）
会 場	ワークピア磐田
対 象	参加者数 約100人
内 容	<p>第1部では、仕事や家事・育児が忙しく運動ができていない方を対象に、元ジュビロ磐田の福西氏を招き、誰もが簡単に運動をはじめられる方法を紹介した。</p> <p>第2部では福西氏をはじめ、磐田市長、静岡 SSU ボニータの大間選手を交えて「スポーツのまち No1」として「スポーツ資源を活かしたまちづくり」について対談した。</p>



▶ 現役プロサッカー選手によるサッカー教室

磐田西高校出身の森下龍矢による中学生を対象としたサッカー教室の開催に協力

▶ 宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール 【再掲】

▶ トランポリン体験会 【再掲】

令和5年度スポーツ推進事業について

IV-2 スポーツに係る広報活動・情報提供の見直し

- 本市ゆかりの選手、チームの活躍を発信する機会の増加
施設、駅等への横断幕の設置、チームマスコット等を活用したのぼり旗等の作成
- HP や SNS などの情報通信技術を活用したスポーツ情報発信の検討
市役所1階展示コーナー等を活用し、地元チーム（ジュビロ、レヴズ、ボニータ）を紹介した。

政策V 新たな時代に対応した施策等の実施

V-1 コロナ禍におけるスポーツ活動の確保

- 新型コロナウイルス感染症影響下における、スポーツイベントや教室等の実施方法の検討
- 施設利用のガイドラインの作成
- 個人や少人数でもできる運動プログラムの開発や映像配信等の検討
 - ・スポーツ推進委員インスタグラムで親子運動動画の配信を行った。

V-2 スポーツ以外の事業を活用したスポーツ施策の推進

- 観光施策などと融合したスポーツイベントの実施
- スポーツ合宿等における既存体育施設の有効活用
 - ◇ 2023 磐田 U-12 国際サッカー大会の開催支援
 - 期 日 令和5年7月27日（木）～7月30日（日）
 - 会 場 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場
竜洋スポーツ公園サッカー場
 - 参加チーム 合計12チーム
 - ◇ 全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会の開催支援
 - 期 日 令和6年3月3日（日）
 - 会 場 アミューズ豊田
- 静岡県市町対抗駅伝競走大会の支援
 - 令和5年12月2日（土）成績：市の部12位。2時間19分44秒